

## 感謝

35期 亀澤由有子

2023. 11. 25、卒業後初めてボートの集まり(60周年式典)に参加させていただきました(23年ぶり…)。ボート部時代のことを大変懐かしく思い出し、現役時代を支えてくださったOB・OGのみなさまに感謝を伝えたく、ここに思い出とともに書かせていただきます。

### 大学生活 (ボート)

#### ボート一色

大学に入学して始めたボートですが、すぐにその虜となり4年間ボート一色の大学生活でした。大学2~4年は女子で戸田公園ロイヤルホスト裏にアパートを借りて住み、完全合宿生活をしていました。学校前の懐中電灯を艇に付けての早朝練、学校後の夕練と乗艇三昧の日々。コースや荒川を走りまくり、エルゴ練習。中大合宿所のヤギリ(次の日の野菜切り)をしたのも懐かしい。

#### あらゆる手段を使って勝利を目指す

その当時、体育会ボート部(チャン)が全盛期であらゆる大会で優勝をしており、その輝く姿を毎日間近で見っていた私達女子3人は、自分たちも勝ちたいとただただ勝利を求めました。勝ちたい、メダルが欲しい、インカレで決勝のレースに出たい、そのためには何でもしました。チャンの監督に相談しチャンと同じメニューを毎日こなす。艇が無ければ借艇探しに奔走。日々練習ビデオを研究。先輩で熱いボート愛保持者の千比呂さん・後輩でボート経験者である強い味方の白井さんと3人で、自分たちの「やりたい」を目一杯やらせてもらいました。ちょっと暴走気味でしたが…そんな活動を見守っていただき、中島監督には感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。

#### 結果

インカレで5位に入賞したのが最後の結果でした。決勝進出できず、威風堂々の音楽が流れる中でWinningRowをする夢は破れました。しかし、この結果を残せたことは嬉しい思い出です。部員が少ない時期でしたが、OBの方々が試合にも来てくださり常に支えていただきました。



大切な大切なインカレの賞状



創部35周年に作っていただいた記念品のテレホンカード

## 大学生活（学業）

### 学業は最低限のみ

数学を極めたく数学科に入学しましたが、私の大学生活の98%はボートでしたので、学業について語れることはありません…4年間で卒業するための最低限の学業しかしていません。胸を張って言える学業が残らなかったのはやはり残念です。後に教員となりますが、教員免許もこの時とっておけばよかった。本当に全てボートでした。

## 社会人（ボート）

### 目指せ国体

卒業してもボートが大好き過ぎて働きながら続けました。戸田での仲間と神奈川県代表として国体を目指し、土日は終日鶴見川でクウォード練習。大学時代は戸田でしか漕いだことがありませんでしたが、鶴見川・相模湖・千葉小見川等々なところで漕ぐ新しい経験



をしました。川は荒れることが多く、大荒れの川レースで水をつかめずに敗退したことが多々…。ボートは自然との戦いでもあり奥が深い。結局、国体出場の夢は叶いませんでした。現役のみなさんは戸田以外の様々なところで合宿練習されているようですね。きっと良い経験です。色々な水で鍛え楽しんでください。

## 今

### 小学校教員

大学卒業後 SE として 5 年働き、その後退職・結婚・出産でしたので、どっぷり仕事をする事は無くしてしまいました。そんな私ですが、昨年教員採用試験を受け 4 月より小学校の教員になります。（教員免許は SE 時代に取得、ここ 3 年は講師として小学校勤務。）この年齢で教員スタートというのはやはり驚かれます。ボートで身につけた変な底力、ド根性精神により採用が決まった気がします。年齢的に体の衰えは否めませんが、ボート部で鍛えた精神力と、僅かに残っているであろう体力は活かせそうです。4 月から子ども達と一緒に突っ走ろうと思います。

## 最後に

### 現役のボート部員のみなさま

ボート活動の取り組み方は色々であり、人それぞれです。自分の納得いく自分に合った活動をして、ボートを、そして大学生活を楽しんでください。今、本当に部員が多くて羨ましいです。ボートの魅力を上手に引き継ぐことができているからだと思います。素敵です。

お世話になったOB・OGのみなさま

ボート部時代はがむしゃらに漕がせていただき、この上ない最高のボート生活を送ることができました。現役時代、先輩方に支えていただいたことに改めて感謝いたします。最後に、中大理工ボート部の今後のご活躍を心から応援しています。

以上